

みえ森と緑の県民税を活用し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めます。

災害に強い森林づくり

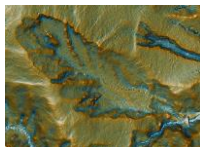
◇災害緩衝林整備事業 (379,951千円)

流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出を行います。



◇森林情報基盤整備事業 (100,000千円)

災害に強い森林づくりを効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施して森林資源等の詳細な情報を取得し、整備が必要な森林を明らかにします。



県民全体で森林を支える社会づくり

◇森を育む人づくりサポート体制整備事業 (76,369千円)

「みえ森林教育ビジョン」に基づく教育プログラムの作成や各種講座、シンポジウムを開催するほか、「みえ森づくりサポートセンター」の運営、森林教育施設の整備・運営を行います。

◇生物多様性推進事業 (17,880千円)

希少性の高い野生動植物種の生息状況調査と再評価により三重県レッドリストの改定を行うほか、外来生物の調査、自然環境保全活動の支援、自然観察会の開催などを行います。

◇森林とふれあう自然公園環境整備事業 (10,000千円)

自然公園施設を活用した森林教育のほか、施設の保全活動を行います。

◆みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (629,570千円)

◆みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (基本枠・加算枠)

地域の实情に応じて「対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり」や「対策区分2：暮らしに身近な森林づくり」の施策を展開します。

◆流域防災機能強化対策事業 (連携枠)

溪流沿い等の森林を整備し、防災機能の強化を図ります。

◆森林再生力強化対策事業 (連携枠)

新植地への獣害防止施設の整備やニホンジカ捕獲等を支援します。

◆災害からライフラインを守る事前伐採事業 (防災枠)

倒木により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木を事前に伐採します。

◆みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (基本枠・加算枠)

地域の实情に応じて「対策区分3：森を育む人づくり」「対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり」「対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり」の施策を展開します。



県実施

市町実施

制度運営

◇みえ森と緑の県民税制度運営事業 (23,708千円)

みえ森と緑の県民税を活用した事業について評価・検証を行う附属機関「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営するほか、みえ森と県民税を活用した事業の成果を広く周知するための報告書作成や事業成果発表会の開催、PRポスターやチラシ作成など普及啓発を行います。

注1) ◇は県実施、◆は市町実施を表しています。

注2) 予算額は、事業費のうち「みえ森と緑の県民税」を充てる額を示しています。